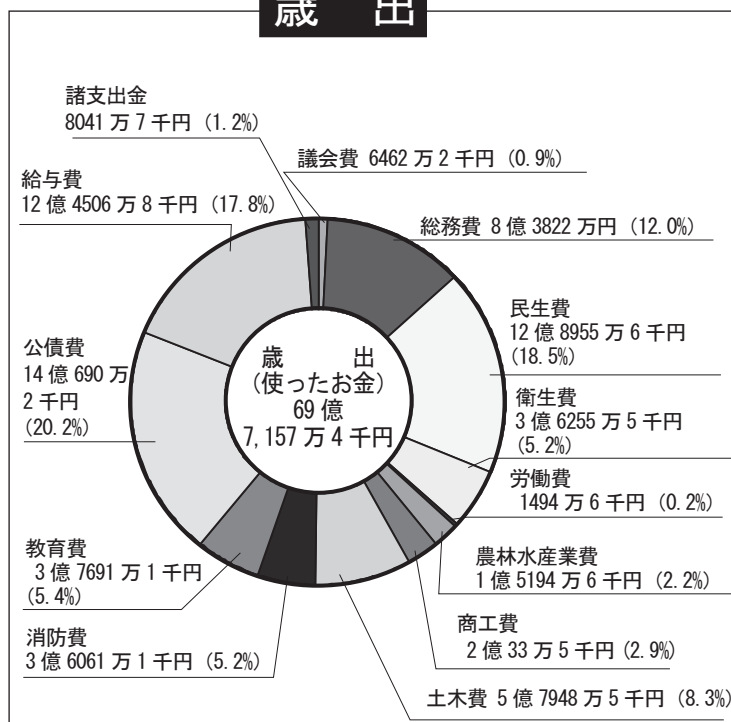




の116億6553万1千円から9億933万円減少し、平成24年度末で107億5620万1千円となりました。
町債の償還額は、平成21年度末でピークを過ぎたものの償還額は、依然多額で推移すること

から、新たな起債事業（借金をして行う事業）は、公債費負担適正化計画により、中・長期的な視点から収支のバランスを十分に検証しながら、借入していく必要があります。
なお、町債の残高を町民一人当たりの借金として換算すると約110万円（前年度118万円）となり、将来世代に対する負担の軽減を今後も図るよう努めなければなりません。
（平成25年9月末住民基本台帳人口：9、810人）

歳 出



◆ 特別会計の状況

■ 国民健康保険特別会計

平成24年度の1年間に、町に入ったお金（歳入）15億7724万9千円から使ったお金（歳出）15億6996万6千円を差引いた額は、728万3千円（実質収支）となり、平成25年度に繰り越しました。

■ 公共下水道事業特別会計

平成24年度の1年間に、町に入ったお金（歳入）7億7968万円から使ったお金（歳出）7億7647万6千円を差引いた額は、320万円4千円で24年度から25年度への繰越事業に必要な額24万6千円を差し引くと295万8千円が実質収支となり、平成25年度に繰り越しました。

■ 介護保険特別会計

平成24年度の1年間に、町に入ったお金（歳入）10億5584万8千円から使ったお金（歳出）10億3340万2千円を差引いた額は、2244万6千円（実質収支）となり、平成25年度に繰り越しました。

■ 簡易水道事業特別会計

平成24年度の1年間に、町に入ったお金（歳入）8406万4千円から使ったお金（歳出）8134万2千円を差引いた額は、272万2千円（実質収支）となり、平成25年度に繰り越しました。

■ 後期高齢者医療特別会計

平成24年度の1年間に、町に入ったお金（歳入）1億4642万4千円から使ったお金（歳出）1億4155万8千円を差引いた額は、486万6千円（実質収支）となり、平成25年度に繰り越しました。

特別会計

（単位：千円、%）

区 分	予算現額	歳 入		歳 出	
		決算額	収入率	決算額	執行率
国民健康保険特別会計	1,605,430	1,577,249	98.2	1,569,966	97.8
公共下水道事業特別会計	783,677	779,680	99.5	776,476	99.1
介護保険特別会計	1,060,410	1,055,848	99.6	1,033,402	97.5
簡易水道事業特別会計	83,366	84,064	100.8	81,342	97.6
後期高齢者医療特別会計	147,236	146,424	99.4	141,558	96.1

◆ 水道事業会計の状況

（単位：千円、%）

区 分	予算現額	決算額	執行率
収益的収支	収入	212,181	212,678
	支出	212,181	205,494
資本的収支	収入	101,284	88,748
	支出	149,218	141,617

（予算現額及び決算額については、消費税込みの金額です。）

収益的収支については、収入が2億256万6千円（消費税込金額2億1267万8千円）、支出が1億9108万9千円（消費税込金額2億549万4千円）で、当期純利益が1147万7千円となりました。

資本的収支については、収入が8874万8千円、支出が1億4161万7千円となり、不足額5286万9千円は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

